

# 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、すこやかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当健康保険組合の事業運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、厚生労働省が発表した2024年度の概算医療費は、過去最高の48.0兆円となりました。健康保険組合連合会が発表した決算見込では、昨今の賃金上昇の影響や保険料率の引き上げにより、保険料収入は対前年度+4.9%となったことから経常収支145億円の黒字となりました。しかし、高齢者等拠出金の伸びは対前年度+5.7%と保険料収入を上回っており、さらに2025年度は団塊の世代が全員75歳以上となることから、高齢者等拠出金への負担は今後さらに厳しくなるものと予測されております。

当健康保険組合は、2016年度の保健料率改定からこれまで現状維持を図っておりますが、ここ数年の被保険者数減の影響により、保険料収入は年々減少しております。その3～4割が高齢者拠出金関連で徴収されている状況で、今後の高齢者拠出金はさらに上昇する見込みです。皆様の日頃からの健康推進及び予防対策並びに適正医療費使用が、保険料改定の延命に繋がりますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

健康保険組合を取り巻く情勢としては、昨年12月1日でこれまでの健康保険証は廃止になり、医療機関受診時は基本的にマイナ保険証を使用する仕組みとなりました。マイナ保険証においては、昨秋からスマホに搭載出来るようになり、緊急時や災害時の利便性も向上しております。マイナ保険証登録がお済でない方は早めの移行をお願いいたします。

また、2026年度からは新たに「子ども・子育て支援金制度」が始まります。当制度の支援金は健康保険組合が代行して徴収いたしますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

最後となりましたが、本年もみなさまがご家族とともに健康に留意され、心身ともにすこやかな毎日を過ごされますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2026年1月  
大正製薬健康保険組合  
山口 健一

